

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 01003275
 PUBLICATION DATE : 09-01-89

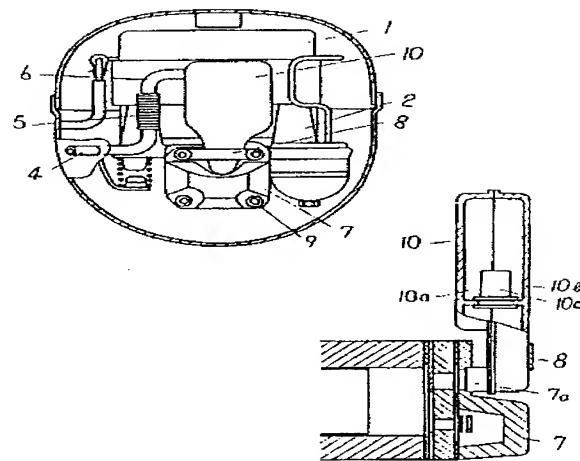
APPLICATION DATE : 26-06-87
 APPLICATION NUMBER : 62160072

APPLICANT : MATSUSHITA REFRIG CO LTD;

INVENTOR : OTA TOSHIHIKO;

INT.CL. : F04B 39/00 F04B 39/12

TITLE : MUFFLING DEVICE FOR COMPRESSOR



ABSTRACT : PURPOSE: To simplify a forming metal mold and reduce a cost by dividing a suction muffler by a plane perpendicular to the direction of the suction hole of the cylinder head of a compressor.

CONSTITUTION: A suction gas is fed into a suction muffler 10 via a suction tube 4 and a spring 5 and sent into a compression chamber from the suction port 7a of a cylinder head 7. The suction muffler 10 consists of muffler 10a, 10b which are divided by a plane perpendicular to the direction of the suction port 7a of the cylinder head 7 and a connecting pipe 10c. Thereby, the forming metal of the suction muffler can be simplified increasing the number of formed items while reducing cost.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報 (A) 昭64-3275

⑬ Int. Cl. 4

F 04 B 39/00
39/12

識別記号

1 0 1
1 0 1

序内整理番号

F-6907-3H
C-6907-3H

⑬ 公開 昭和64年(1989)1月9日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 圧縮機の消音装置

⑮ 特願 昭62-160072

⑯ 出願 昭62(1987)6月26日

⑰ 発明者 笠野 博 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内
 ⑱ 発明者 川井 秀樹 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内
 ⑲ 発明者 太田 年彦 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地 松下冷機株式会社内
 ⑳ 出願人 松下冷機株式会社 大阪府東大阪市高井田本通3丁目22番地
 ㉑ 代理人 弁理士 中尾 敏男 外1名

明細書

1. 発明の名称

圧縮機の消音装置

2. 特許請求の範囲

弾性的に配設した電動要素と圧縮要素と、前記圧縮要素に取り付けられたシリンドヘッド、吸込マフラーを備え、前記シリンドヘッドの吸込孔の方向に対し直角の平面にて、前記吸込マフラーを分割したことを特徴とする圧縮機の消音装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、冷蔵庫等に使用される圧縮機に関するものである。

従来の技術

近年、圧縮機は省エネルギーを目的とし、エネルギー効率の向上が進んでいるが、その主な技術の一つはもどり吸込ガスが一旦、密閉容器内で加熱されて膨張し、密度の薄い吸込ガスをシリンドヘッドにて吸込圧縮することを改善し、吸込ガスの密度低下を断然する事により防止して吸込効率を

高めるものである。

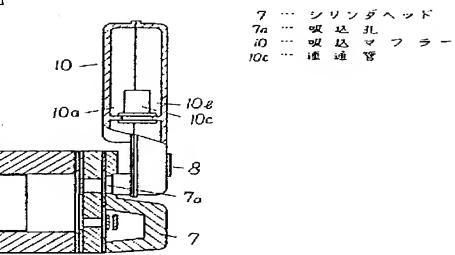
この技術を使う為、吸込マフラーをプラスチックにし、シール性を持たせる必要がある。

以下図面を参照しながら、上述した従来の圧縮機の消音装置の一例について説明する。

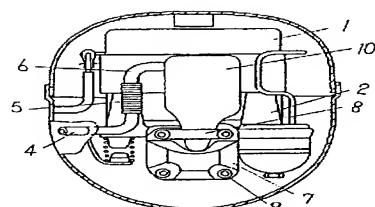
第4図は従来の消音装置の構造を示す概略図、第5図は第4図の側面図、第6図は従来の消音装置の分解斜視図である。

第4図～第6図において、弾性的に支持された電動要素1と圧縮要素2とからなり、プラスチック等の断熱材で作られた吸込マフラー3に連通するサクションチューブ4、密着スプリング5、インサートチューブ6を有し、前記吸込マフラー3はシリンドヘッド7の吸込孔8にねじ込み板ばね9を介してボルト10で固定されている。また前記吸込マフラー3は上下に容器状をしたマフラー3a、マフラー3b及びR状に成形したバッフル3cにより構成されており、バッフル3cのスプリング力でマフラー3aをマフラー3bにねじ込み固定している。

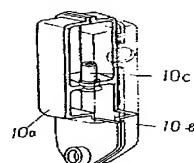
第 2 図



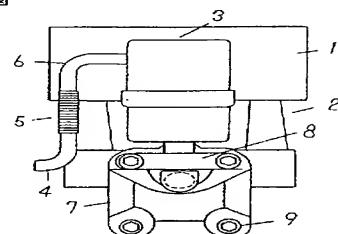
第 1 図



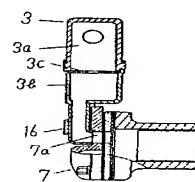
第 3 図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

